

愛媛県スポーツ推進計画の概要

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

本県では、平成29年に開催された、えひめ国体・えひめ大会のレガシーを最大限に活かし、次代に継承、発展させていくほか、愛媛県スポーツ振興計画に基づき取り組んできた各種施策の成果を踏まえ、国のスポーツ基本法や第2期スポーツ基本計画、愛媛県スポーツ推進条例の理念を具現化するとともに、社会、経済、県民の生活や意識の変化に対応するため、愛媛県スポーツ推進審議会の答申を受けて、「愛媛県スポーツ推進計画」を策定しました。

2 計画の役割

この計画は、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本事項その他の必要事項について定め、えひめ国体・えひめ大会を礎に、そのレガシーを活かして「スポーツ立県えひめ」の実現に向けて取り組んでいくための指針となるものです。

3 計画期間

この計画は、2018年度（平成30年度）から2022年度までの5年間を計画期間とし、適宜、必要な見直しを行います。

第2章 計画策定の背景

1 愛媛県スポーツ振興計画（後期）の検証

平成23年3月に策定した愛媛県スポーツ振興計画（後期）では、「ライフステージに応じたスポーツ機会の創造」、「トップアスリートの育成」、「スポーツ施設の整備・活用」、「愛媛国体の開催準備」の4つの基本政策の分野ごとに、今後の方向性と具体的取組みを示すとともに、数値目標を設定しました。

数値目標に対する実績は、平成22年と比較すると、多くの項目で上昇したものの、目標には届いていないことから、引き続き、県民が気軽にスポーツ活動に参画できる環境づくりを進めるとともに、インターハイやえひめ国体で過去最高の成績を収めるなど、強化された競技力の維持・向上に取り組む必要があります。

2 えひめ国体・えひめ大会の成果

両大会では、いずれも過去最高の成績を収めたほか、国内トップレベルの各種競技の観戦やボランティアへの参加、地域ぐるみのおもてなし等を通じて、県民は大きく盛り上がり、スポーツへの関心や意識が高まるとともに、愛媛に対する誇りや愛着の醸成につながるなど、多くの成果が得られました。

3 県民のスポーツに関する意識調査

この計画の策定に当たり、県民が運動やスポーツについて、日頃どのように考え、どのような活動をし、何を要望しているのか把握し、計画に反映させるため、意識調査（成人、

児童・生徒、幼児保護者対象)を実施しました。

調査結果では、全体的にスポーツに対する関心は高く、成人の実施頻度も過去の調査結果と比較すると上がってきています。

また、えひめ国体・えひめ大会終了後のスポーツ振興策への要望では、「競技力の維持・向上」が最も多く、次に「各市町で開催された競技を生かしたまちづくり」「整備された施設を活用したスポーツ合宿誘致」と続いており、両大会のレガシーを引き続き活用する振興策の要望が高くなっています。

第3章 計画の目標と基本方針

1 目標

「スポーツ立県えひめ」の実現

スポーツの持つ力やえひめ国体・えひめ大会の開催を通じて得られた様々な成果を最大限活用し、愛顔あふれる愛媛づくりを進めます。

2 基本方針

(1)「スポーツでみんなが愛顔に」

スポーツは、みんなを愛顔にします。

全ての県民がスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツで愛顔になるための環境づくりを進めます。

(2)「スポーツで未来を愛顔に」

スポーツは、人を成長させ、夢を育みます。

次代を担うジュニアアスリートの夢を育み、世界に通用するトップアスリートを育成するため、更なる競技力向上の取組みを進めます。

(3)「スポーツで愛顔の絆を」

スポーツは、人や地域をつなぎます。

スポーツは世界共通の文化の一つであり、相互理解や交流を深めるうえで、大きな役割を果たすことができることから、こうした絆を更に結ぶとともに、世界にも広げるため、スポーツを通じた交流を進めます。

(4)「スポーツで地域に愛顔を」

スポーツは、地域を活性化します。

スポーツを通じたまちづくりを進めるほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会やプロスポーツを活用した地域の活性化を図ります。

第4章 施策の展開

1 スポーツ機運の定着・盛り上げ

(1)スポーツ推進体制の拡充

えひめ国体・えひめ大会の開催を通じて高まった県民のスポーツに対する機運を定着させ、更に盛り上げるため、県内の各種団体や行政など幅広い分野で構成する「えひめスポーツ推進県民会議（仮称）（以下「県民会議」という。）」を新たに設置するとともに、県のスポーツ振興施策を一元的に推進するため、「スポーツ・文化部」を新設します。

(2) 県民運動の推進

全ての県民が、気軽に「する」「みる」「応援する」「支援する」スポーツに親しみ、楽しむことができるよう、県民会議が推進主体となって、運動・スポーツに参画しやすい環境づくりを、県民総ぐるみの運動として推進します。

2 スポーツ参画人口の拡大

(1) 子どもの運動習慣の定着と体力向上

県民会議が主体になって推進する県民運動の中で、幼児期の子どもにとっての運動や外遊びの意義・重要性の啓発を行うとともに、保護者等が子どもと一緒にスポーツを行う時間が持てる環境づくりを進めます。

(2) 学校体育活動の充実

学校における体育の授業の質の向上や、体育の授業以外の時間を活用した運動する「場」の提供、地域のスポーツ団体等と連携した取組みを推進します。

(3) 運動部活動の充実

運動部活動の指導を充実させるため、スポーツ人材バンクの充実を図るとともに、競技団体等と連携し、運動部活動指導員や民間の指導者等、地域のスポーツ指導者の活用を促進し、指導体制の充実を図ります。

(4) スポーツを通じた健康増進

身体活動・運動の意義や重要性が広く県民に認知され、実践されるよう周知し、歩行数の増加や運動習慣の定着化に取り組むほか、子どもからお年寄りまで気軽に参加することができる「愛媛スポーツ・レクリエーション祭」を開催します。

(5) 高齢者スポーツの推進

60歳以上の高齢者を中心としたスポーツと文化の祭典「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」を、2022年度に本県で初めて開催することから、準備を着実に進めます。

(6) 障がい者スポーツの推進

障がい者の健康増進を図るためのスポーツ講習会や指導者を養成するための講習会を実施するとともに、身近な地域でスポーツを楽しめる環境整備や民間が実施する障がい者スポーツ活動への支援など、障がい者スポーツの裾野拡大に向けた取組み等を行います。

(7) スポーツ顕彰制度の充実

世界規模や全国規模のスポーツ大会で顕著な成績を収めた選手・団体を表彰するとともに、全県規模で開催されるスポーツ大会に知事賞等を交付します。

3 スポーツ環境の充実

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援

各市町及び関係団体と連携しながら、「えひめ広域スポーツセンター」の活動等を通じて、総合型地域スポーツクラブの育成を支援します。

(2) スポーツに関する情報提供

「する」「みる」「応援する」「支援する」といった様々な形で、県民誰もがスポーツに手軽に参画できるよう、スマートフォンアプリ等を活用し、スポーツに関する情報を一元化して発信します。

(3) スポーツ施設等の整備と有効利用の促進

全国的な大会やスポーツ合宿、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿を誘致するなど、スポーツ施設の有効活用等に取り組みます。

(4) 地域住民、企業、団体、大学等との連携

大学等と連携し、シンポジウムを開催するなど、県民等への機運醸成に取り組むとともに、スポーツイベントへの参加・協力を積極的に働きかけます。

4 競技スポーツの振興

(1) 競技水準の維持・向上

愛媛で育成・強化してきた選手や、愛媛を拠点に競技活動を行う選手などが、世界最高の舞台であるオリンピックに出場できるよう、必要な支援を行います。

(2) 指導者の養成・資質向上

高度な専門能力を有する指導者の養成を図るため、競技団体ごとに全国のトップコーチを競技専属アドバイザーコーチとして県内強化練習等に招へいします。

(3) ジュニアアスリートの発掘・育成・強化

全国レベルで活躍できる選手の育成を図るため、体験教室等の開催により有望選手を発掘し、県内合宿や県外遠征、招待試合等の強化事業を総合的に実施します。

(4) スポーツ医・科学の活用

スポーツ医・科学に関する知識の普及・啓発や、スポーツドクターやトレーナーなどの競技団体等への派遣、メディカル・フィジカルチェックの実施など、愛媛県体育協会と連携して、スポーツ医・科学を最大限に活用した合理的な強化を推進します。

5 スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化

(1) スポーツ大会・合宿誘致等スポーツ交流の促進

県民のスポーツに対する関心や参加意識をより高めるとともに、競技団体等の自主的な活動を促進するため、多様な規模、レベルのスポーツイベントの開催を支援します。

交流人口の拡大や地域経済の活性化を図るため、市町や競技団体と連携して、日本スポーツマスターズの2020年度本県開催に向けて取り組みます。

(2) 東京オリンピック・パラリンピック等の開催効果の取り込み

海外の一流選手との交流や地域同士の交流によるスポーツ、地域経済等の活性化のため、東京2020大会等の代表選手の事前合宿誘致に積極的に取り組むとともに、市町の誘致活動を支援します。

(3) スポーツを通じたまちづくりの推進

えひめ国体・えひめ大会の開催の成果を引き継ぎ、地域におけるスポーツ振興を図るため、国体等で開催された競技を活かしたまちづくりを進める市町の取組みを支援します。

各種イベントや大会を活用し、「愛媛が野球の聖地であること」について、県内への一層の浸透を図るとともに、県外に向けて情報発信します。

(4) 地域密着型プロスポーツ球団の活用

愛媛県プロスポーツ地域振興協議会を通じて、集客促進や試合会場内における各種イベント助成等の充実を図り、各プロスポーツ球団に対する応援機運を盛り上げます。

愛媛県スポーツ推進計画 体系図

目標	基本方針	施策の展開
<p style="text-align: center;">「スポーツ立県えひめ」の実現</p>	<p style="text-align: center;">えひめ国体・えひめ大会のレガシーを活かす 「愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会を礎に」</p> <p>1 「スポーツで みんなが愛顔に」 全ての県民がスポーツを楽しむ環境づくりを進める</p>	<p>1 <u>スポーツ機運の定着・盛り上げ</u> ①スポーツ推進体制の拡充 ②県民運動の推進</p> <p>2 <u>スポーツ参画人口の拡大</u> ①子どもの運動習慣の定着と体力向上 ②学校体育活動の充実 ③運動部活動の充実 ④スポーツを通じた健康増進 ⑤高齢者スポーツの推進 ⑥障がい者スポーツの推進 ⑦スポーツ顕彰制度の充実</p> <p>3 <u>スポーツ環境の充実</u> ①総合型地域スポーツクラブの育成支援 ②スポーツに関する情報提供 ③スポーツ施設等の整備と有効利用の促進 ④地域住民、企業、団体、大学等との連携</p>
	<p>2 「スポーツで 未来を愛顔に」 更なる競技力向上の取組みを進める</p>	<p>4 <u>競技スポーツの振興</u> ①競技水準の維持・向上 ②指導者の養成・資質向上 ③ジュニアアスリートの発掘・育成・強化 ④スポーツ医・科学の活用</p>
	<p>3 「スポーツで 愛顔の絆を」 スポーツを通じた交流促進に取り組む</p>	<p>5 <u>スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化</u> ①スポーツ大会・合宿誘致等スポーツ交流の促進 ②東京オリンピック・パラリンピック等の開催効果の取り込み ③スポーツを通じたまちづくりの推進 ④地域密着型プロスポーツ球団の活用</p>
	<p>4 「スポーツで 地域に愛顔を」 スポーツを活用して地域の活性化を図る</p>	

愛媛県スポーツ推進計画の数値目標

項目		実績 (平成29年度)	推進計画 数値目標 (2022年度)	
1 スポーツ機運の定着・盛り上げ				
スポーツをするのも見るのも嫌いな県民の割合（成人）		7.5%	5%以内	
国体開催認知度		95% (平成28年度)	—	
2 スポーツ参画人口の拡大				
運動・スポーツの実施頻度	週3日以上スポーツを行う 県民の割合	成人	15.4%	30.0%
		小中高生	58.4%	70.0%
	週1日以上スポーツを行う 県民の割合	成人	39.1%	65.0%
		小中高生	78.3%	90.0%
日常生活における歩数	20～64歳	男性	7,297歩 (平成27年度)	8,500歩 (2023年度)
		女性	6,875歩 (平成27年度)	8,500歩 (2023年度)
	65歳以上	男性	5,971歩 (平成27年度)	7,000歩 (2023年度)
		女性	5,268歩 (平成27年度)	6,500歩 (2023年度)
愛媛スポーツ・レクリエーション祭の参加者数		7,695人	12,000人	
全国健康福祉祭の参加者数（本県選手団）		125人	700人	
県障がい者スポーツ大会の参加者数		1,877人	2,500人 (2020年度)	
全国障害者スポーツ大会の団体競技の出場種目数		0種目 (平成28年度)	3種目 (2020年度)	
3 スポーツ環境の充実				
総合型地域スポーツクラブの設置数		42クラブ	—	
総合型地域スポーツクラブの会員数		6,461人	7,100人	
スポーツ情報に関するスマートフォンアプリのダウンロード数		—	30,000	
県立スポーツ施設利用者数		86万人 (平成28年度)	90万人	
学校開放率	運動場	81.9% (平成28年度)	100%	
	体育館	91.3% (平成28年度)	100%	
	武道場	82.8% (平成28年度)	100%	
4 競技スポーツの振興				
オリンピック出場者数		ロンドン3人 ソチ1人 リオデジャネイロ2人 平昌2人 (2018年)	東京15人 (2020年)	
オリンピックメダリスト数		ロンドン1人	東京2人	
国体総合順位		2位	20位以内 13位以内 (平成30年度)	
競技人口		38,282人 (平成28年度)	40,000人	
スポーツ指導者数（人口1,000人当たり）		2.1人 指導者2,880人 人口139万人 (平成27年度)	2.3人 指導者2,900人 人口127万人 (2025年度推計)	
インターハイ入賞件数		48件	40件	
5 スポーツを通じた交流の促進と地域の活性化				
スポーツイベントの誘致件数		年5件	年10件	
うち、国際・全国大会の誘致件数		年2件	年3件	
新規スポーツ大会の開催件数		—	年9件	
日本スポーツマスターズの参加選手数		—	9,000人 (2020年度)	
県内への事前合宿誘致件数		—	8件 (2020年度)	
地域密着型プロスポーツ球団の観戦意向	愛媛FC	67.4%	80%	
	愛媛マンダリンパイレーツ	51.7%	70%	
	愛媛オレンジバイキングス	11.6%	50%	